

平成22年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:生物(pg/g-wet)
 地方公共団体:北九州市
 調査地点:洞海湾
 調査生物:ムラサキイガイ

調査対象物質	検体番号	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] PCB類	1	46,000	※※20	※※52
[1-1] モノクロロビフェニル類	1	16	0.8	2.0
[1-2] ジクロロビフェニル類	1	300	1	4
[1-3] トリクロロビフェニル類	1	3,400	3	8
[1-4] テトラクロロビフェニル類	1	18,000	2	4
[1-4-1] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (#77)	1	120	1	4
[1-4-2] コプラナーPCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル (#81)	1	11	2	4
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	1	15,000	2	6
[1-5-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (#105)	1	670	1	3
[1-5-2] コプラナーPCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#114)	1	38	1	4
[1-5-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#118)	1	1,900	2	6
[1-5-4] コプラナーPCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#123)	1	46	1	3
[1-5-5] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#126)	1	4.4	0.9	2.2
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	1	7,400	2	5
[1-6-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#156)	1	59	1	3
[1-6-2] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#157)	1	27	2	4
[1-6-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#167)	1	56	2	5
[1-6-4] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#169)	1	nd	2	4
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	1	1,400	2	6
[1-7-1] コプラナーPCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル (#170)	1	23	2	6
[1-7-2] コプラナーPCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#180)	1	150	2	5
[1-7-3] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#189)	1	tr(4)	2	6
[1-8] オクタクロロビフェニル類	1	69	2	5
[1-9] ノナクロロビフェニル類	1	nd	2	5
[1-10] デカクロロビフェニル	1	18	3	7
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	1	210	2	5
[6] DDT類	1	3,300	※※4.3	※※12
[6-1] p,p'-DDT	1	470	1	3
[6-2] p,p'-DDE	1	1,400	1	3
[6-3] p,p'-DDD	1	960	0.5	1.3
[6-4] o,p'-DDT	1	160	1	3
[6-5] o,p'-DDE	1	71	0.6	1.5
[6-6] o,p'-DDD	1	280	0.2	0.6
[7] クロルデン類	1	5,400	※※9	※※22
[7-1] cis-クロルデン	1	1,600	2	4
[7-2] trans-クロルデン	1	1,200	1	3
[7-3] オキシクロルデン	1	150	3	8
[7-4] cis-ノナクロル	1	760	1	3
[7-5] trans-ノナクロル	1	1,700	2	4
[8] ヘプタクロル類	1	180	※※2.9	※※8.4
[8-1] ヘプタクロル	1	7	1	3
[8-2] cis-ヘプタクロルエポキシド	1	170	0.9	2.4
[8-3] trans-ヘプタクロルエポキシド	1	nd	1	3
[11-1] α-HCH	1	730	1	3
[11-2] β-HCH	1	1,500	1	3
[11-3] γ-HCH (別名:リンデン)	1	150	1	3
[11-4] δ-HCH	1	870	1	3

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) 検体番号に記載した番号の試料を等量ずつ混合し、1検体として測定した。

(注3) ※※定量[検出]下限値は同族体毎の定量[検出]下限値の合計値とした。

平成22年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:生物 (pg/g-wet)
 地方公共団体:北九州市
 調査地点:洞海湾
 調査生物:ムラサキイガイ

調査対象物質	検体番号	測定値	検出下限値	定量下限値
[12] クロルデコン	1,3,4	nd	2.3	5.9
[13] ヘキサブロモビフェニル類	1	nd	※※10	※※24
[13-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル (#153)	1	nd	2	4
[13-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモビフェニル (#154)	1	nd	2	5
[13-3] 2,2',4,4',6,6'-ヘキサブロモビフェニル (#155)	1	nd	2	5
[13-4] 2,3,3',4,4',5-ヘキサブロモビフェニル (#156)	1	nd	0.7	1.9
[13-5] 3,3',4,4',5,5'-ヘキサブロモビフェニル (#169)	1	nd	3	8
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	1	610	※※150	※※400
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	1	310	16	43
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル (#47)	1	310	16	43
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	1	98	6	14
[14-2-1] 2,2',4,4',5-ペンタブロモジフェニルエーテル (#99)	1	66	6	14
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	1	20	3	8
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#153)	1	nd	3	8
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#154)	1	10	2	5
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	1	nd	10	30
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#175) 及び	1	nd	10	30
[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#183) の合計値				
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	1	tr(10)	4	11
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	1	30	10	30
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	1	tr(140)	97	270
[15] ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	1	180	9.6	25
[16] ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOA)	1	41	9.9	26
[17] ペンタクロロベンゼン	1	110	0.7	1.9
[19] トリブチルスズ化合物	1	4,900	160	420
[20] トリフェニルスズ化合物	1	6,500	110	270

(注1) 検出下限値以上を検出とした。

(注2) 検体番号に記載した番号の試料を等量ずつ混合し、1検体として測定した。

(注3) ※※定量[検出]下限値は同族体毎の定量[検出]下限値の合計値とした。